

ライフサポーター派遣

無料

ライフサポーター派遣とは

不登校でひきこもり傾向にある児童生徒の家庭や、不登校で別室登校をしている児童生徒の学校に、臨床心理学を学ぶ大学院生（ライフサポーター）が訪問します。他者と関わるきっかけをつくり、児童生徒の悩みや不安の解消に向けて支援します。

対象

徳島県内の公立小学校・中学校・高等学校、中等教育学校、特別支援学校の児童生徒です。

活動内容

好きなことを一緒に楽しんだり、話し相手になったりします。先生や友だちとは異なる、年の近い親しい存在として、不安や悩みに寄り添います。

Q&A

Q. 申込の手続きは？

A. 学校を通じてお申し込みいただきます。手続きの大まかな流れは以下のとおりです。なお、申し込みは、随時受け付けます。また、継続の場合も年度毎に申請が必要です。

- ①申込前に学校から当センターへ連絡（派遣状況等の確認） → ②申請書類を学校を通じて当センターへ提出 → ③大学でライフサポーターを選定 → ④当センターから学校へ決定通知書を送付 → ⑤学校とライフサポーター間で連絡・日程調整 → ⑥関係者会議開催後、訪問開始

Q. 申込に際しての注意事項は？

A. 申込には保護者および本人の同意が必要です。また、家庭派遣は保護者在宅時に限ります。

Q. 派遣期間は？

A. 5月から2月末までです。長期休業期間中（夏休みなど）については、学校、保護者・本人、ライフサポーターで話し合って決めます。

Q. 勉強の指導は？

A. ライフサポーター派遣の目的と異なるため、勉強の指導は行いません。

Q. 当日、本人の体調等によりキャンセルする場合は？

A. 速やかにライフサポーターへ連絡してください。キャンセルの場合でも、保護者や先生の話をお聞かせいただいたり、本人に手紙を渡していただいたりする目的で、予定の時刻に訪問先にお伺いすることがあります。ご協力をお願いします。



子どもの声



- ・話しやすく、共通の好きな話題についてたくさん話げできた。
- ・来てくれる日が楽しかった。
- ・優しく楽しい方だったので、落ち着いて安心して会話げできた。大学生活の話も聞けてよかった。



保護者の声



- ・話を楽しみに学校に行っていた。訪問日は、表情が良くなっていた。
- ・前向きになっていく様子がよくわかった。出会いに感謝している。
- ・お兄さんのような立場で接してくれ、子どもも構えずに関われた。



先生の声



- ・家庭、学校以外の大人に関わってもらえ、ありがたかった。
- ・教員が気づかない子どもの一面を引き出してくれた。
- ・子どもの心を開くきっかけとなる、大切な役割をしてもらえた。